

死刑論

【概要】 古くて新しい議論として今なお決着を見ない「死刑」についての検討を行う。従来から、廃止論者は刑事政策的論点や憲法上の論点、冤罪などを理由に廃止を訴え、賛成論者は死刑による抑止や国民の多くが死刑に賛成であることを理由に死刑の存置を訴えている。しかし、これらはいずれもそれぞれの思い込みや理想によって話されていることも多い。

そこで、本講義では、それぞれの根拠にエビデンスの観点から見直し、また死刑を取り巻く世界の議論を踏まえて、死刑について根本から学び直すことを目的とする。

回数Lecture	担当者Instructor	学修内容Contents of the learning
第1回	丸山 泰弘	授業を始めるにあたって（オリエンテーション）
第2回	丸山 泰弘	日本の刑罰の基礎
第3回	丸山 泰弘	死刑の存在意義を歴史から考える
第4回	丸山 泰弘	死刑の廃止論者の伝統的な主張を見直す
第5回	丸山 泰弘	死刑の賛成論者の伝統的な主張を見直す
第6回	丸山 泰弘	世界的な死刑を取り巻く状況
第7回	丸山 泰弘	死刑冤罪事件について
第8回	丸山 泰弘	中間確認テスト
第9回	丸山 泰弘	アメリカの死刑違憲判決と合憲判決
第10回	丸山 泰弘	アメリカのスーパーデュープロセス
第11回	丸山 泰弘	判決前調査制度について
第12回	丸山 泰弘	167人一括減刑をしたイリノイ州のライアン知事のスピーチから考える
第13回	丸山 泰弘	絞首刑は「残虐な刑罰」か：古畑鑑定の再検討
第14回	丸山 泰弘	終身刑は死刑の代替刑となるうるのか？
第15回	丸山 泰弘	まとめ：徹底討論「あなたは死刑に賛成ですか？反対ですか？」

※ 本サイトはトライアルのために第一次案として公開するものです。
無断転載等、著作権を侵害する行為はお控えください。